

2026 年度シラバス

科目分類/Subject Categories			
学部等/Faculty	/工芸科学部 : /School of Science and Technology	今年度開講/Availability	/有 : /Available
学域等/Field	/デザイン科学域 : /Academic Field of Design	年次/Year	/3年次 : /3rd Year
課程等/Program	/デザイン・建築学課程・課程専門科目 : /Specialized Subjects for Undergraduate Program of Design and Architecture	学期/Semester	/前学期 : /First term
分類/Category	/:/	曜日時限/Day & Period	/火 2 : /Tue.2

科目情報/Course Information				
時間割番号 /Timetable Number	13112201			
科目番号 /Course Number	13160076			
単位数/Credits	2			
授業形態 /Course Type	講義 : Lecture			
クラス/Class				
授業科目名 /Course Title	建築職能論 : Architectural Professionalism			
担当教員名 / Instructor(s)	/角田 暁治/木下 昌大/武井 誠/金野 千恵/朽木 順綱/////岩本 一将 : KAKUDA Akira/KINOSHITA Masahiro/TAKEI Makoto/KONNO Chie/KUTSUKI Yoshitsuna/IWAMOTO Kazumasa/			
その他/Other	インターンシップ実施科目 Internship	国際科学技術コース提供科目 IGP	PBL 実施科目 Project Based Learning	DX 活用科目 ICT Usage in Learning
			○	○
	実務経験のある教員による科目 Practical Teacher	○	設計実務経験のある教員が指導する。	
科目ナンバリング /Numbering Code				

授業の目的・概要 Objectives and Outline of the Course	
日	建築設計のプロセスや建築作品の解釈について様々な視点から言及するとともに、建築の自然や社会への影響、美と技術に関する諸問題、建築と瑕疵、建築という概念の多様性といった、建築設計を支える多様な価値について検証する。
英	

学習の到達目標 Learning Objectives	
日	建築および建築設計者の社会的使命、倫理観について理解する。建築作品、建築設計行為を支える多様な概念を理解し評価指針を得る。
英	

学習目標の達成度の評価基準 / Fulfillment of Course Goals (JABEE 関連科目のみ)	
日	
英	

授業計画項目 Course Plan			
No.		項目 Topics	内容 Content
1	日	社会と建築家	社会における建築家、建築作品の位置づけについて概観する
	英		
2	日	建築家の職能	建築設計という行為の意味や責任について言及する

	英		
3	日	ケース・スタディー # 1	具体的な作品を取り上げ、その作品の成立背景について考察する
	英		
4	日	ケース・スタディー # 2	具体的な作品を取り上げ、歴史的・文化的文脈について論述する
	英		
5	日	プレ・モダン	モリスからウィーン派までの流れを概説する
	英		
6	日	C.R.マッキントッシュ	世紀末に生きた建築家のデザイン思想を見る
	英		
7	日	ル・コルビュジェ	ル・コルビュジェの作品について概説する
	英		
8	日	ミース・ファン・デル・ローエ	ミース・ファン・デル・ローエの作品について概説する
	英		
9	日	20世紀の建築	20世紀の建築全般について概説し、建築という概念について再検証する
	英		
10	日	都市と自然	都市化された自然環境の意味、建築との関係について述べる
	英		
11	日	内部と外部	観念的な内外部と物理的な内外部の意味をさぐる
	英		
12	日	知覚と行為	環境における知覚と行為のメカニズムをさぐる
	英		
13	日	表層と肌理	環境を構成する表層と肌理について述べる
	英		
14	日	まとめ①	建築家の職能についてまとめる
	英		
15	日	まとめ②	建築家の社会的な役割についてまとめる
	英		

履修条件 Prerequisite(s)

日	
英	

授業時間外学習（予習・復習等）

Required study time, Preparation and review

日	本講義で語られる建築技術者の持つべき幅広い職能に関して、各自で継続的に思考し、関連する講義や実習においても反芻すること。
英	

教科書／参考書 Textbooks/Reference Books

日	建築を旅する（共立出版）
英	

成績評価の方法及び基準 Grading Policy

日	試験あるいはレポートによる
英	

留意事項等 Point to consider

日	
英	